

「新しい生活様式」の浸透に伴い、学校の授業にも新しい光景が見られるようになりました。

その一つが、音楽の時間です。朝の会で歌う「朝の歌」や音楽の授業の歌唱学習では、飛沫感染予防のため、大きな声で歌うことはできません。その代わりに取り入れているのがリズム学習です。朝の歌や教科書で扱われている歌唱教材のCDに合わせ、小さな声で口ずさみながら手や足でリズムを取って、音楽の楽しさを味わっています。



もみじ学級では、毎朝、二階先生と一緒に朝の歌でリズム打ちを行っています。「♪パン・パン・パン♪」という基本的なリズムから、「♪パンッ・パパン！（ウン）パンッ・パパン！♪」と、休符が入った少し難しめのリズムまで、全員がとっても上手に合わせる事ができています。「今日はここまで」と二階先生が言うと、「もっとやりたあい」「もう1回！」とまだまだやりたい様子。まさに、「音」を「楽」しんでいるのでした。

雨上がりの気持ちのよい3時間目、2年生が校舎前の犬走りに一列に横並びで座っていました。「何かの観察かな？」と思っていたと・・・。

聞こえてきたのは、「♪ソ・ミ♪ ソ・ミ♪ ♪ファ・ミ・レ・ド♪」の鍵盤ハーモニカの音。教室内ではできない楽器の学習（これも飛沫感染防止のため）を、屋外で行っていたのです。暑さが和らいできたこともあり、これからはこんな授業風景も日常となるのかもしれません。



あれもできない、これもできないと嘆いていても仕方ありません。あれこれと工夫しながら、各教科の学習を進めています。やっと学校に音楽がもどってきました！